



9月号
(第415号)

武庫川女子大学
附属中学校・高等学校
総務部

生成AIとの関わりについて

副校長 新田 大介



みなさん、こんにちは！

夏休みが終わり、新学期が始まりました。夏の思い出を胸に、新たな気持ちでスタートしましょう。前学期の成果を活かし、新しい目標に向かって努力する姿勢を忘れずに、一緒に頑張っていきましょう！新しい友達や先生との出会いも楽しみですね。素敵な学期になることを願っています！頑張っていきましょう！

以上の文章は生成AIに「夏休みが終わり二学期始まりを迎える高校生への挨拶。三百字以内」という条件を入力して作成した文章です。条件を簡略にし、文字数に制限をかけたため、平板な文章になりましたが、文字数に制限をかけなかったら、瞬時に千字程度の文章を作成してききました。ただし、今回の文章でも分かるように、「新しい友達や先生との出会い」という部分で分かるように「どこの国の話ですか」という問題が起きます。ということ、生成された文章を鵜呑みにすることは危険ですね。

さて、文部科学省は今年七月に「生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」を公表しました。活用例としては、「情報モラル教育の一環として、生成AIの性質や限界等を生徒に気付かせる」「英会話の相手として活用し、自然な英語表現への改善」を挙げる一方、適切でない例として「レポート・小論文をそのまま提出」「定期テストなどの使用」を挙げています。生成AIについては現在十八才未満での利用は制限されています。企業や役所などでは文書作成も含めて導入が進んでおり、ICT機器が教育で活用されている学校現場でも導入が検討されるかもしれません。優秀で便利なツールがあればそれに頼りたくなるのも分らないではありませんが、「生成AIに宿題をやらせると、宿題は終わるが自分自身が賢くなるわけではない」「そもそも学校の勉強は何のためにするのかを考えさせることが大事である」という指摘もあります。SNS等も含めてではあります。が、便利なツールであるからこそ、普段の学習を通じてその使用モラル、危険性をしっかりと理解し活用できるようにと素養を身に付けてもらいたいと思っています。

後期役員任命式・リーダートレーニング

七月十九日（水）に後期役員任命式が行われました。本校には、学級正副委員長会、風紀委員会、庶務委員会、美化委員会、保健委員会、図書情報委員会の六つの委員会があり、中学一年生から高校三年生までの合計四〇八名の生徒が任命されました。

この後期役員のなかで、全学年の正副委員長、そして全学年の風紀委員会から図書情報委員会の学年代表・副代表が、八月二十二日（火）・二十三日（水）

に行われたリーダートレーニングに参加しました。

世良田校長先生や武庫川女子大学教育学部の学部長でいらっしゃる北口先生からお話をいただいたり、さまざまなトレーニングプログラムを通じて、参加者九十八名が「自分のなりたいリーダー像」を確立できるように励みました。



体育大会案内

日時 令和五年十月七日（土）九時開会式

雨天時 十月八日（日）

場所 武庫川女子大学総合スタジアム

（阪神甲子園駅から現地まで有料バスを運行します）

本校の体育大会といえば、各学年がそれぞれ力を合わせて行う壮大なマスゲームが伝統的です。また、競技への参加、生徒たちの互いのエール交換、どこを切り取っても、生徒たちが全力で取り組んでいる姿をご覧いただけます。また、創作ダンス部やバトントワリング部は演技を披露いたします。

在校生の保護者等の方々は、入場券のご持参をお忘れなくお越しください。小学生・中学生やその保護者の方々は、学校ホームページより、事前予約をお済ませください。

中学一年サイエンスツアー

中学一年生創造サイエンスコースは、八月一日（火）から八月三日（木）、中国地方へサイエンスツアーに行ってきました。

一日目は、島根県宍道湖の体験学習型水族館「ゴビウス」を訪れました。汽水湖という特徴的な自然や、そこに生息する生物について学びました。その後、館内に展示されている水槽のバックヤードを見学し、普段みることでできない設備や、生物を飼育するための工夫を知ることができました。また、同敷地内の宍道湖グリーンパークも訪れ、水中の生物だけでなく野鳥などの陸上生物についても学びました。

二日目は、三瓶山などの自然をテーマとする島根県立三瓶自然館「サヒメル」を訪れました。館内見学では体験型の展示が多く、三瓶の自然を五感を使って体験することができました。その後、講師の方と一緒に三瓶高原でフィールドワークを行いました。林の中や水辺などの自然の中で生きている動植物に触れることができました。次に、三瓶小豆原埋没林公園を訪れました。ここでは、火山噴火によって埋もれた縄文時代の森が発掘・保存されています。それらを間近で見ることができ、自然の圧倒的なスケールと膨大な時間の流れを感じました。

三日目は、山口県にある日本最大級のカルスト台地である秋吉台を訪れました。はじめ、秋吉台科学

博物館の学芸員である藤川さんに、秋吉台について講義をしていただきました。講義のあと、実際にカルスト台地の草原を歩き、そこにいる生物や岩石などに触れることで、知識だけでなく、経験として学ぶことができました。また、広大な草原やカルスト地形を目にし、生徒たちからは感動の声があげられました。その後、カルスト台地の石灰石に埋まっている化石探掘も体験しました。ハンマーを使って硬い石灰石を砕き、生徒が自分の力で学術的資料を手に入れた体験は、今後生徒たちの研究者としての態度・意識を形作る土台となります。次に、秋吉台の地下にできた洞窟「秋芳洞」を見学しました。ここでも自然の産物のスケールの大きさを、作られるまでの膨大な時間を感じることができました。

中学二年サイエンスツアー

中学二年生創造サイエンスコースは、八月七日（月）から八月九日（水）、名古屋方面へサイエンスツアーに行ってきました。

一日目は、愛知県犬山市にある日本モンキーセンターに行きました。センターでは学術部キュレーター・高野智先生にサルと進化の関係について講義をしていただきました。その後、施設見学をさせていただき、飼育されているサルを観察しました。二日目は、愛知高速交通Linimoの藤が丘駅から八草駅までリニアモーターカーの乗車体験をしました。その後、車両基地に行き、リニアモーターカーの歴史やしぐみについて講義をしていただきました。施設の見学もさせていただき、内部の構造や、車両基地で働く人たちについても知ることができました。その後、名古屋科学館の見学をしました。当日は、ネコ科の動物の特別展示が開催されており、種類や生態についての展示を見学しました。その後、館内の各展示を見学したあと、大規模なプラネタリウムの上映を鑑賞しました。

三日目はトヨタ産業技術記念館の見学をしました。トヨタ創業当時の力織機の製造工程から、現在の電気自動車製造に至るまでトヨタの歴史がわかる展示がなされています。力織機の仕組みがわかりやすく展示されており、布製品の製造工程がよくわかりました。また自動車製造に移ってから、人の手で車体を製造したり、内部の機械を製造する様子が展示されており、当時の従業員の苦労がよく分かりました。現在の車の製造工程の展示で



は、産業用ロボットが車体を持ち上げスポット溶接する技術など、細部まで見えるようになっており、生徒たちは興味深く見学していました。

今回のサイエンスツアーを通じて普段見ることにできない施設や設備を多く目にする機会があり、特別な講義もしていただいたことは、生徒にとって有意義な時間になりました。

中学三年サイエンスツアー

中学三年生創造サイエンスコースは、八月八日(火)から八月十日(木)、東海・関東方面へサイエンスツアーに行ってきました。今年は、「私たちが取り巻く地球を科学する」をテーマに静岡県、山梨県、神奈川県を巡ります。



一日目は、明治日本の産業革命遺産として世界遺産に登録されている葦山反射炉と沼津港深海水族館を訪れました。葦山反射炉は、実際に稼働した反射炉として、国内で唯一現存するものです。今回私たちは、ガイドさんの解説のもと葦山反射炉を見学しました。その後、沼津港深海水族館を訪れました。沼津港深海水族館では、世界でも希少なシーラカンスの冷凍個体などを見学することができました。そのほかにも、同じ種類の生物を浅い海と深海で比較展示しているコーナーや、古代ザメ「ラブラ」の剥製など、数多くの展示に触れ、深海の神秘を感じることができました。

二日目は、山梨県富士山世界遺産センターと山梨県富士山科学研究所を訪れました。富士山は、信仰の対象であるとともに、芸術の源泉として、日本人の自然観や日本文化に大きな影響を与え、二〇一三年六月に「富士山・信仰の対象と芸術の源泉」の名称で世界文化遺産に登録されました。世界遺産センターでは、展示だけでなく、富士山の麓から山頂まで様々なルートで登る映像など、様々なものから信仰の対象としての富士山や、その植生などを学べるようになっています。その後、山梨県富士山科学研究所を訪れました。この研究所は標高約千メートルの富士山の麓にあり、数多くの研究者の方が様々な角度から富士山の研究をされています。今回は、「噴火現象を知る」、「宇宙から見る富士山」をテーマに講義をしていただきました。

二日目の夜には宿泊ホテルで、JAMSTECの木戸ゆかり先生から、地球深部探査船「ちきゅう」や有人潜水調査船「しんかい6500」、無人探査機など研究についてのお話や海に関係するお仕事に就かっている女性のネットワークのことなど、盛りだくさんの内容で講義をしていただきました。ま

た、講義の前には代表班がこの二日間学んだことを木戸先生に報告する時間も取ることができ、報告に対するお話をいただくことができました。

三日目は、神奈川県立生命の星・地球博物館とJAXA相模原キャンパスに行きました。神奈川県立生命の星・地球博物館では、最初に博物館にまつわるお話をいただき、その後班ごとに館内を見学しました。展示の中には、さまざまな問いかけもあり、目で見ただけでなく手で触れ、感じ、考えることができるものになっていました。その後、訪れたJAXA相模原キャンパスでは、はやぶさ2が持ち帰った小惑星リュウグウのサンプルや実際のロケットなどを見学することができました。館内にロケット専門の方がおり、その方に質問をしたり、サンプルの観察をしたりと充実した時間を過ごすことができました。

この三年間、数多くの方々と出会い、多くのことを吸収し、成長することができました。サイエンスツアーで経験したことを忘れずに、残りの中学校生活でさらに成長し、高校へと繋げていきます。

高校一年サイエンスツアー

高校一年生創造サイエンスコースは、八月七日(月)〜九日(水)、関東地方へサイエンスツアーに行ってきました。このツアーのテーマは「近い将来の私たちの姿」で、主に大学や様々な研究施設を訪れました。初日は東京工業大学「地球生命研究所」で、女性研究者の講義を受け、いくつかの研究室を見学させていただきました。生命の起源に迫るため、地球という惑星の誕生の時期やメカニズム、それを通して他の天体の誕生や形成についても、最新のデータや分析結果を用いてシミュレーションするこの研究所は、外国人研究者が約半数を占めています。国籍や分野を超えて相互にコミュニケーションをとりながら研究に取り組む所内は、非常に和やかで海外を思わせる雰囲気でした。

二日目は、筑波研究学園都市での研修でした。まず農業関連の研究をする「農研機構」を訪れ、様々な研究施設のうち「食と農の科学館」では、最新の農業形態や農産物の新品種への改良について学びました。「ジーンバンク」では、生物遺伝資源の国内からの収集・受入・増殖・保存・特性評価・配布および情報の管理提供についての取り組みを学びました。午後には、筑波大学附属病院「陽子線医学利用研究センター」を訪れ、放射線治療や陽子線を照射させるための直径十メートル近い巨大な装置についてそのしくみなども学びました。病気治療



の裏側で、医療系学部出身者だけではなく、工学系出身の「医学物理士」として従事する方々のお話も聞くことができ、このツアーならではの経験となりました。また、女性医師の講義では、女性医師としての生き方、結婚と出産、仕事と家庭など、生徒たちも近い将来に必ず訪れる進路選択をしっかりと意識しながら聴くことができました。

最終日は、千葉県柏市の東京大学柏キャンパスを訪れました。「物性研究所」では、研究室の学生さんが、超強磁場で非金属を金属化する実験を見学することができました。また、宇宙空間での物質の振る舞いを観測したり、宇宙空間での化学反応を再現するための実験装置も見せていただきました。「大気海洋研究所」では、大気や海洋の変動が、過去の地球環境の変動に大きく関わってきたこと、また近年の気候変動と人々の産業活動との関連を分析することで、近未来や遠い未来の地球環境をも予測する「古気候分析」に関する講義を受けました。加えて所内の様々な研究施設や装置も見学しました。両研究所とも、大学の先生のみならず、大学生や大学院生が世界をリードするような研究をされていることにも、生徒たちは刺激を受けたようでした。

どの施設に関しても、しっかりと事前学習を行って臨んだものの、それを上回る内容ばかりで生徒たちは少し困惑していました。ツアーのテーマ「近い将来の私たちの姿」に合致した研修で、大いに背伸びをした研修になったのではないかと思います。

9th Science Conference in Hyogoに参加した

七月十六日(日)に神戸大学で行われた9th Science Conference in Hyogoに、高校3年創造サイエンスコースの生徒たちが参加しました。このカンファレンスには、本校を含み、十五校の生徒たちが参加しました。

午前の部は、藍原祥子先生(神戸大学大学院農学研究科生命機能科学専攻応用生命化学講座・食品・栄養化学教室助教授)より、「Can we explain "tasty"?」をテーマとして、講演いただきました。講演は全て英語で行われ、質疑応答では多くの生徒たちが英語で積極的に質問していました。

午後の部は、ポスターセッションの時間で、三十八の研究発表が並びました。「We want to find the most effective mask for hay fever」をタイトルとし、渡邊佳鈴さん、田近亜季さん、田下文音さん、村田素菜さんが発表しました。また、「People's Relationship with Water」をタイトルとして、伊藤華さん、大井千絵子さん、宮崎葵理さんが



発表しました。それぞれ合計四回プレゼンテーションをする機会と質疑応答の機会があり、回を重ねるにつれて、自信をもって発表できるようになりました。

全国SSH生徒研究発表会に参加しました!

八月九日(水)・十日(木)に、神戸国際展示場で、令和五年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会があり、高校3年創造サイエンスコースの大谷磨理奈さん、藤原瞳さん、松本尚子さんが、「数学・情報」の分野で発表しました。

研究タイトルは「バンド作成補助アプリの制作」で、発表後は審査員の方々から鋭い質問をされ、何度も議論する光景がありました。

二日目には、兵庫県知事の齋藤元彦氏が視察にられ、サンテレビとJCOMの撮影もありました。

生徒たちは「ここまでとても忙しく大変だったけれど、私たちと同じ全国の高校生が、これだけ熱心に研究に取り組んだり、互いに熱くディスカッションしたりできる、この素晴らしい雰囲気を直接体験できて、とてもよかった」と充実した笑顔で話してくれました。

科学交流研修会を行いました

七月二十二日(土)・二十三日(日)の二日間、科学交流研修会を行いました。この研修会は十五回目を迎え、今回は大阪大学、神戸大学、武庫川女子大学のご協力のもと、七つの講座を開講していただき、八校三十四名の生徒が参加しました。



この研修会は、いろいろな学校の生徒と共に、大学研究室での研究を体験し、研修内容をプレゼンテーションにまとめ、発表するプログラムになっています。

大学での高度な研究を直接体験できるとともに、自発的な学びを経験し、他校生徒と協力してプレゼンテーションをまとめ、発表することができ、生徒は満足そうな様子でした。

今年も大好評! 親子で楽しむ科学教室

七月二十九日(土)に本校にて、「第十八回親子で楽しむ科学教室」を開催しました。毎年恒例の行事で、今年も多くの方々にご参加いただき、「科学

の楽しさ」に触れていただきました。

時には実験失敗シーンがありました。実験とは失敗があるからこそ意味があるもの。本当の実験はむしろ、なかなか成功はありません。」という先生の声に、保護者の方がしつかりと頷きながら、お子さまにその意味を伝えていく姿もあれば、実験の問いかけに対して親子で一緒に「なんでだろう?」と考えている姿もあり、すっかり実験の虜になっている様子でした。

暑いなか、ご参加いただきありがとうございました。



日経STEAM2023シンポジウムに参加しました!

七月十九日(水)に、大阪国際交流センターで行われた日経STEAM2023シンポジウムに、高校二年創造サイエンスコースの稲垣奈椿さん、嶋田恵さん、豊永瑞希さん、花岡美空さん、村尾悠花さんの五名が参加しました。



このシンポジウムは、兵庫県、大阪府、京都府から集まった高校生、大学生、各教員など、総勢約六百名が集まるもので、生徒たちはその大衆を目の前に、堂々と研究内容を発表し、審査員からの質問に対してスムーズに答えていました。

身のまわりのものに疑問をもち、課題を自ら発見し、毎日研究を進めました。本研究は、高校一年時の「切った爪を分析することで、簡単に健康チェックができるかどうか」という素朴な疑問から始まり、「授業で学習した内容も自分たちの研究に応用できないか」という視点で、地道に実験を重ねました。そして、三月の「日本生理学会」で研究内容を発表し、その学会で知り合った研究者の先生方と議論する機会も得ました。今回の発表に向けて、オンラインで塩野義製薬の方々や、大学生の方々とも議論してきました。たくさんご助言を賜り、ありがとうございました。

今回の研究発表を終えた生徒たちは、「しんどいこともたくさんあるけれど、成長している自分たちを実感することができて楽しい」と話し、また一歩前進できた充実感をかみしめていました。

四年ぶりの海外研修、中高ともに大好評!

本校の海外研修は一九八七年に始まり、中学はアメリカ方面、高校はオーストラリアを行き先として

始まりました。それから行き先を少しずつ変え、令和元年度より中学生はアジア方面とアメリカ方面への隔年実施とし、現在は高校生のオーストラリアとヨーロッパ方面への隔年実施を検討しています。令和五年度の中学グローバル研修はタイへ、高校グローバル研修はオーストラリアへ行ってきました。どちらもホームステイプログラムがあり、それぞれ家族の温かみを感じ、別れを惜しむ生徒がほとんどでした。それぞれの地で、自分を大切にしてください。次は自分が誰かを大切にできる人になれるように。

中学タイ研修

七月三十日(日)から八月五日(土)の七日間、中学二年生・三年生の参加希望者十八名が、タイのチェンマイとバンコクへ行ってきました。



サラサートウィテートチェンマイ学校を訪問し、一日文化交流をする日がありました。タイ語を教え、もらったり、伝統的なタイの遊びを一緒にしたり、お菓子作りを楽しんだり、タイの民族衣装を着させてもらいました。本校生徒たちは駄菓子の縁日しようを用意していましたが、時間が足りず、臨機応変にじゃんけんゲームを考え、その場を盛り上げてくれました。ソーラン節やマルモリダンスを披露し、互いに親睦を深めることができました。

また、チェンマイ滞在期間である三泊四日間、同校の生徒宅でホームステイをしました。どのホストファミリーもみんな優しく、毎日が楽しかったように、ホストファミリーと別れの時間が来ると、泣いてしまう生徒がいるほどでした。

研修の後半はバンコクへ移動し、四つの寺院を巡りました。はじめに訪ねたワット・ベンチャマボピットで、礼拝の仕方を教わり、寺院の存在意義を五感を使って学び、他の寺院も巡りました。どの寺院もスタイルが異なり、外では写真撮影などを楽しみ、中では静かに見学することができました。

高校オーストラリア研修

七月二十七日(木)から八月九日(水)の二週間、高校一年生から三年生の参加希望者四十三名が、オーストラリアのクイーンズランドへ行ってきました。

オーストラリアへ到着し、カランビン動物園で園内見学とコアラの抱っこ体験をしました。オーストラリアのなかでも、コアラを抱っこ



できる動物園は限られているため、貴重な体験をしました。その後、ホストファミリーと対面し、十泊十一日間、ホームステイをしました。

平日は本校の提携校であるセント・ヒルダス校にお世話になり、英語のレッスンを受け、昼食はパディと共にとり、授業に参加させてもらったり、文化交流をしたり、盛りだくさんなプログラムでした。特に印象的だったのは、アボリジニの文化やことわざを学び、デザイン体験をさせてもらったことです。

また、学校集会の場で、学院歌やソーラン節を披露し、大盛況でした。その他にも小学校を訪問し、日本語や日本文化の紹介をする機会があったり、みなでバーリーヘッズ国立公園へ行きました。そして、展望台へのぼり、ゴールドコーストを一望することもできました。プログラムの最後にはさよならパーティーがあり、修了証書をいただきました。その後、オーストラリアの大学生生活の雰囲気を知るために、グリフィス大学を訪問しました。

仲良くなった現地校のバディや、約二週間お世話になったホストファミリーとお別れが寂しく、泣いている生徒もいました。

今年も楽しかった、中学英語キャンプ

七月三十日(日)から八月一日(火)の三日間、丹嶺学苑研修センターで行われた英語キャンプに、中学一年生から三年生の参加希望者三十一名が参加しました。このキャンプは、英語圏の文化について外国人講師から学んだり、スキット作成や英語発表を行うことで、英語を使うことを楽しむプログラムで構成されています。



プログラムは各学年ごとに三つのグループに分かれており、レベルに合わせた内容になっています。講師の先生方の出身国やその国の文化について教わったり、日本の文化や伝統を英語で伝えたり、自分の夢や目標について英語で話すなど、さまざまなトピックを使って練習をしました。

プログラムの終盤には、レベルに応じてグループ発表や個人発表の練習をし、最終日には各学年の代表作をいくつか選び、全体の前で発表しました。中学校三年生が集まり、三日間の成果を発表することで、先輩・後輩共に刺激を与え合うことができました。

力を引き出す、高校英語ワークショップ

八月十八日(金)から八月二十日(日)の三日間、本校で英語ワークショップを行いました。参加希望

者を募りましたが、最少催行人数に達することができませんでした。そのため、高校二年創造グローバルコースGEC(Global English Communication)系の生徒たちの必須プログラムのみの実施となりました。

英語によるディベートのノウハウやディベートで使う英語の表現を学び、実際にディベートをしたり、プレゼンテーション力を伸ばす授業を受けました。また、講師の先生方の出身国はさまざまなため、各国の文化や、抱える問題について学び、SDGsに関する諸問題について議論しました。最後に、生徒たちはSDGsに関連する自分の興味がある分野について、英語でプレゼンテーション発表をしました。その他にも、GEC系の生徒たちは三月にカナダへ海外研修に行くため、事前学習として飛行機で使う英語を学ぶなど、研修で必要な会話の練習もしました。



新任教員の紹介

橋本 佳依先生(理科)
7月より赴任しました。理科の授業を担当させていただきます。皆さんが授業を楽しみ、理科に興味を持てるように努めてまいります。よろしくお願いたします。



中学生対象 高校入試説明会のご案内

・10月21日(土) 10時~10時45分
場所 武庫川女子大学西宮北口キャンパス

小・中学生対象 個別相談会のご案内

・10月7日(土) 10時~14時(体育大会見学)
場所 武庫川女子大学総合スタジアム

・10月12日(木) 13時(金) 17時~20時
14日(土) 9時~12時
場所 武庫川女子大学鳴尾ステーションキャンパス

・10月21日(土) 10時45分~12時30分
場所 武庫川女子大学西宮北口キャンパス

・10月22日(日) 9時~12時(五ツ木殿々堂模試会場)
場所 本校
※詳細は、ホームページをご覧ください。

☆様々な分野での活躍☆

世界大会で活躍しました！

・2023ジュニア・U23カーヌスプリント世界選手権
イタリア アウロンツォ(6/30〜7/11)

ジュニア女子カヤックシングル 500m

B決勝8位(全体17位)

ジュニア女子カヤックフォア 500m

準決勝敗退(全体10位)

岩井 瑞希(高2)

全国大会に出場しました！

○カーヌス

・全国高等学校総合体育大会カーヌス競技大会・第39回
全国高等学校カーヌス選手権大会 山形県 月山湖
(8/1〜6)

500m 女子カヤックシングル

2位 岩井 瑞希(高2)

200m 女子カヤックシングル

2位 岩井 瑞希(高2)

200m 女子カヤックペア

3位 杉本 深覚(高1) 安藤 千結(高2)

500m 女子カヤックペア

4位 杉本 深覚(高1) 安藤 千結(高2)

200m 女子カヤックフォア 4位

500m 女子カヤックフォア 4位

岩井 瑞希(高2) 安藤 千結(高2)

杉本 深覚(高1) 平田 望葵(高3)

女子総合2位 武庫川女子大学附属高等学校

200m・500m カナディアンシングル

奥見 陽(高2)

・文部科学大臣杯2023年度日本カーヌスプリント
ジュニア選手権大会 精進湖カーヌス競技場
(8/17〜22)

500m カヤックシングル

2位 杉本 深覚(高1)

500m カヤックペア

3位 安藤 千結(高2)

500m カナディアンシングル

5位 奥見 陽(高2)

500m カヤックシングル

安藤 千結(高2)

200m カナディアンシングル

奥見 陽(高2)

200m カヤックシングル

杉本 深覚(高1)

200m カヤックペア

安藤 千結(高2)

他校生徒と出場

○バレーボール部

・第5回 全日本ビーチバレーボールU・23男女選抜
優勝大会 明石市大蔵海岸 特設ビーチバレーボ
ルコート(7/21・22)

中野 里音(高2) 森本 和花(高2)

○放送部

・第70回NHK杯全国高校放送コンテスト全国大会
国立オリンピック記念青少年総合センター・NHK
ホール(7/24〜27)

アナウンス部門 入選 三好 紅葉(高3)

・校内放送研究発表会

研究奨励「題材の秘伝書」(制作代表 大谷磨理奈)
・第40回NHK杯全国中学校放送コンテスト全国大会
(8/5・6)

テレビ番組部門「新入部員いらっしやーい」

黒原 百夏(中2)

○水泳部

・第91回日本高等学校選手権水泳競技大会 北海道・
野幌総合運動公園(8/17〜22)

4×100mフリーリレー

米田 華(高3) 左脇 舞乙(高1)

田中 萌生(高3) 中野 陽菜(高3)

4×100mメドレーリレー

中野 陽菜(高3) 小坂田 愛(高3)

米田 華(高3) 田中 萌生(高3)

50m自由形 左脇 舞乙(高1)

100m平泳ぎ 小坂田 愛(高3)

200m平泳ぎ 小坂田 愛(高3)

○マーチングバンド部

・第47回 全国高等学校総合文化祭 2023かこし
ま総文 鹿児島アリーナ(7/31)
マーチングバンド・バトントワリング部門優秀賞

○書道部

・第47回 全国高等学校総合文化祭 2023かこし
ま総文 サンアリーナせんだい(8/1〜3)
出品 川野 湖遥(高3)

・第57回高野山競書大会 高野山金剛峯寺(8/1〜15)

金剛峯寺賞

全日本書道連盟賞

総長賞

審査委員長賞

南山賞

糸山 紗弓(高3)

・第8回 日本・中国学生書法合同展 京都市京セラ

美術館 別館(8/29〜9/3)

京都府教育長賞

高橋 怜奈(高3)

毎日新聞社賞

川野 湖遥(高3)

○創作ダンス部

・第35回 全日本高校・大学ダンスフェスティバル神戸
神戸文化ホール(8/7〜10)
入選 「縄文―太古の響き―」

○新体操部

・第54回全国中学校総合体育大会新体操選手権大会
愛媛県総合運動公園体育館(8/17〜19)

和田亜美梨(中3) 本田 唯夏(中3)

居場 心嘉(中3)

坂田 菜奈(中2) 上田 莉瑚(中2)

清水こと美(中2)

梅野みいな(中1) 小西 愛華(中1)

○器械体操部

・令和5年度 全国高等学校総合体育大会体操競技大会
北海きたえーる(7/31〜8/5)
佐々木美和(高3)

○柔道部

・令和5年度全国高等学校総合体育大会柔道競技大会
北海きたえーる(8/10〜12)
57kg級 松井 芽央(高2)
70kg級 長崎ひあり(高3)

団体

膽吹理世奈(高3) 長崎ひあり(高3)
中谷 凜子(高2) 松井 芽央(高2)

国体に出場しました！

○バレーボール部

・鹿児島国体ビーチバレーボール競技少年女子代表
中野 里音(高2) 森本 和花(高2) ペア

○カーヌス

・特別国民体育大会・第78回冬季国民スポーツ大会
近畿ブロック大会 音水湖カーヌス競技場
(7/22・23)

WK1 500m 2位 杉本 深覚(高1)

WK2 500m 1位 岩井 瑞希(高2)

WK4 500m 3位 安藤 千結(高2)

庄治 伶(高2)

他校生徒2名

今年はこれまでにないほど生徒たちが各所で
大活躍しました。県大会・近畿大会での活躍
はQRコードを読み取ってご覧ください。



10月行事予定

日	曜	行事予定
1	日	A高3進研記述模試(終日 希望者)
2	月	B体育大会予行・同反省会(総合スタジアム)
3	火	体育大会予行予備日 ○第3期学費引落日
4	水	ブラウンライスイーク(〜6日)
5	木	
6	金	校祖の日特別行事(8:35 AV1) 45分4時間授業 体育大会準備(午後 一部生徒)
7	土	体育大会(総合スタジアム) 雨天時授業 ▼小中学生対象個別相談会(総合スタジアム)
8	日	体育大会予備日 ▼芦研模試合場
9	月	Aスポーツの日
10	火	振替休日(10/7分)
11	水	
12	木	▼鳴尾ステーションキャンパス個別相談会
13	金	▼鳴尾ステーションキャンパス個別相談会
14	土	MS タイム ▼鳴尾ステーションキャンパス個別相談会
15	日	▼東京センター個別相談会
16	月	B
17	火	中間考査(中学・高校)
18	水	中間考査(中学・高校)
19	木	中間考査(中学・高校)
20	金	中間考査(高校)・中学学力推移調査
21	土	休日 附属幼稚園・保育園との異年齢交流会 ▼中学生対象ミニ説明会・個別相談会(西宮北口キャンパス)
22	日	▼小学生対象五ツ木榎々堂模試合場・小中学生対象個別相談会
23	月	A ○第3期学費振込期間(〜30日)
24	火	
25	水	
26	木	防災訓練(45分×6時間授業+訓練)
27	金	
28	土	MS タイム 中間考査得点確認票配布 SSH 中間発表会 高3大学入学共通テスト模試(午後 希望者) 第2回漢字検定(午後 希望者)
29	日	高3大学入学共通テスト模試(午後 希望者)
30	月	B 定期考査成績表配布
31	火	金曜日授業